



平成23年4月1日

第二次事業計画

皆様の身近なパートナーを目指して

株式会社 証券ジャパン

平成20年9月の合併以降、リーマンショック後の厳しい経営環境の中にあっても、当社は、取扱商品の拡充、金融商品仲介業の本格展開に向けた専門部署の新設等、今後の事業展開のための基礎固めを着実に実施してきました。また、事務の改善・合理化推進等により、経費面でも一定の成果をあげることができました。

本年3月をもって第一次事業計画が終了することに伴い、平成26年の創業70周年に向け一層の成長を遂げるため、今般新たに第二次事業計画を策定します。

I 基本理念と目標

期間：平成23年4月1日～平成26年3月末

株式上場等、将来を見据えた基盤強化の時期

私達が目指すもの(コーポレートスローガン)

＜ ゆたかな未来へ あなたとともに ＞

お客様、株主の皆様、当社が手をたずさえ、共に豊かな未来を目指します。

基本理念

- ・社会にとって・・・社会に対する責任を全うし、信頼される会社であること
- ・お客様にとって・・・パートナーとして、「なくてはならない」会社であること
- ・株主の皆様にとって・・・継続して安定的に利益を生む会社であること
- ・社員にとって・・・積極的な気持ちで仕事に取り組み、その一員であることに誇りを持てる会社であること

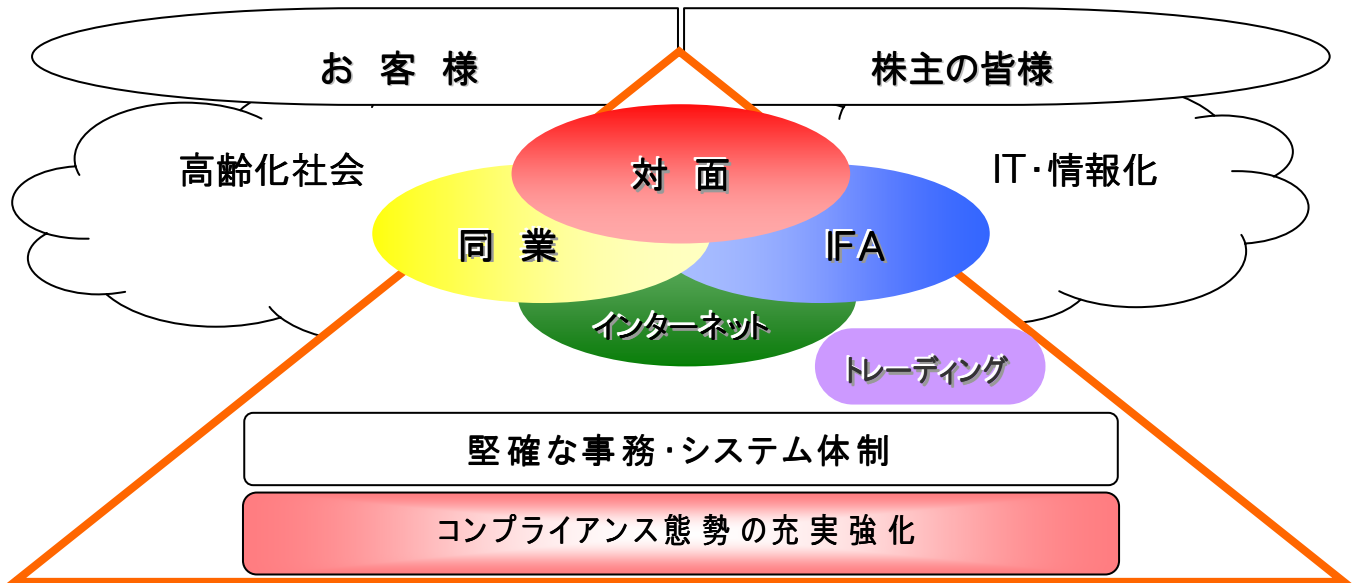
＜目 標＞

預り資産：総額3,000億円(年率10%増)〔内、投信残高800億円(年率15%増)〕

収益力：収益基盤を強化し、安定的な営業黒字と配当を継続します。

財務体質：健全な自己資本規制比率を維持しつつ、純資産の拡充を図ります。

II 重点施策



1. 営業部門

(1) 営業チャネルの垣根を越えたサービスの提供 —営業チャネルの融合—

- ・営業チャネル間の融合を促進し、多様な商品やサービスをお客様にご提供します。
- ・対面営業、同業営業及びIFA営業の間でシナジー効果を発揮するとともに、引き続き対面、インターネットの両チャネルを通じた営業に注力します。

(2) 高齢化社会の進展を睨んだ営業施策の積極展開

- ・高齢化社会が急速に進展していく中、これまで以上に信頼され、ご満足頂けるサービスをご提供します。

地域に密着した当社ならではの肌理細かいサービス

相続等お客様の抱える様々な課題をフルサポート

社会貢献活動への積極的な取組み

(3) 営業展開を支えるコンプライアンス態勢の充実・強化

- ・営業各部門において、コンプライアンスの徹底と強化、充実を図ります。
- ・特に、対面営業、IFA営業において、現場密着型の教育、指導を強力に推進します。

2. トレーディング部門

- ・安定的な収益が得られるトレーディング体制の構築に引き続き努めます。
- ・適切な売買管理並びにリスク管理により、不公正売買防止体制の整備を進めます。

3. 融合・進化を支えるミドル、バックの充実とタイムリーな諸施策の推進

- ・IT化、情報化の進展等外部環境の変化に柔軟な思考で的確に対応します。
- ・業務の効率化やIT化を更に進めるとともに、高品質なシステム体制の構築に努めます。
- ・同業営業、IFA営業では、「社会的なインフラ」としての使命を自覚し、堅確な業務運営に注力します。
- ・社内研修を充実させ、社員の専門性を高めるとともになお一層の意識向上を図ります。

以上